

妙高高原教会再建計画・最終選考結果報告書

2024-03-22

1. プロジェクト名： 日本基督教団 妙高高原教会 再建プロジェクト

2. プロポーザル実施経過

- 2023年10月24日： 池の平クリスチャン村（ICA）ホームページに「妙高高原教会堂再建・基本計画」を掲載 →11月末を期限として公募を開始
- 2023年11月01日：「建築家紹介センター」に公募の内容を掲載
- 2023年11月05日～： オンラインミーティング（計画に関する質疑）実施
- 2023年11月30日： 公募締め切り → 17社が参加
- 2023年12月28日： ICA建設委員会・一次選考 → 二次候補決定（6社）
- 2024年01月05日～： 結果の連絡・ヒアリング日程調整
- 2024年01月15日：「二次プラン・設計予条件一覧表_2024-01-15」配信
- 2024年01月23日～02月03日： 二次候補とのヒアリング実施（7社）
- 2024年02月12日：「二次プラン・設計予条件一覧表(改訂)_2024-02-12」配信
- 2024年02月17日： 2次プラン提出期限
- 2024年02月20日： ICA建設会議・二次選考 → 最終候補決定（4社）
- 2024年02月27日～3月2日： 最終候補ヒアリング
- 2024年03月18日： 最終選考審査会 → 設計依頼建築事務所決定
- 2024年03月22日： 審査結果公表

3. 選考委員会・審査委員

- 委員長： 小友 聡 妙高高原教会・牧師
- 副委員長： 村上伸明 池の平クリスチャン村会員・建設委員（代表）
- 委員： 安藤哲也 池の平クリスチャン村会員・建設委員
- 委員： 高橋千洋 池の平クリスチャン村会員・建設委員
- 委員： 佐藤洋子 池の平クリスチャン村会員・建設委員
- 委員： 佐藤のぞみ 池の平クリスチャン村会員・建設委員
- 委員： 小倉沙央里 池の平クリスチャン村会員・建設委員
- 委員： 村上元気 池の平クリスチャン村会員・建設委員
- 委員： 永井伸治 池の平クリスチャン村会員・理事長
- 委員： 大河原みどり 池の平クリスチャン村会員・理事

4. 一次審査結果

- 一次プランは、「妙高高原教会堂再建・基本計画」の設計条件に基づき「開かれた教会（オープンチャペル/公共スペース）」のコンセプトに沿ったアイデアが数多く寄せられました（17件）。
- その全てが、「池の平クリスチャン村の自然環境を最大限に活かし、ICA 会員のみならず近隣住民やビジターが利用しやすく、多くの人々が集える魅力的な教会」を目指した魅力的なプランで、二次候補を選ぶのは容易ではありませんでしたが、選考の基準を ① 教会建築のイメージ（木造でシンプル）、② コスト見通し、③ 耐雪設計、中心に設定し、ICA 会員からのアンケートを参考に 6 件の候補を選びました。

5. 設計と条件の変更とヒアリング

- 10 月末の公募開始後、妙高市より「下水道配管部分を維持する為の再建用地の面積変更」があり、また「建設費補填の為に検討していたクラウドファンディング実施計画がタイミング的に間に合わない見通し」から、面積と予算を縮小した「二次プラン・設計予条件一覧表_2024-01-15」を準備し、二次候補に配信しました。
- 二次候補 6 社と二次選考参加希望 1 社の 合計 7 社から「2 次プラン」の提出があり、オンラインミーティングを通じて条件変更の説明、2 次プランの説明及び質疑応答を実施しました。

6. 二次選考から最終選考のプロセス

- 2 次プランの内容とヒアリングの結果について ICA 建設委員会及び建築関係者で検討を重ね、4 社を最終候補として選定し計画の詳細についての二次ヒアリングを実施しました。
- 最終選考にあたって、あらためて「ICA にとっての教会のあり方」についての意見交換を行い、ポイントとなる選択基準を以下のように設定しました。
 - ① キリスト教教会として礼拝に適した空間を実現する
 - ② 公共に開かれた開放的な場と雰囲気創造する
 - ③ 建築に使用する素材を含めた総合的な自然との調和を実現する
 - ④ 長期的に ICA と一緒に「人が集う場」を創造する
- 最終審査の判定は「審査員による投票」を実施した上で、3 月 18 日にオンライン審査会を開催し、各委員から投票の根拠とプライオリティーの確認を発表し、意見交換に基づく最終合議」で行いました。
- 以上のプロセスで審査を行い、最終的に「全会一致」で再建の設計と運営をお願いする提案者（設計会社）を決定しました。

7. 再建計画依頼提案者

アトリエニコ 一級建築士事務所 (新潟県新潟市)

8. 審査講評

- 今回の「妙高高原教会再建プロジェクト」は、低予算でありながら積雪により倒壊したキリスト教教会の再建を、母体である池の平クリスチャン村・妙高高原教会の会員対象のみならず、地域や関係者を含めた将来への活性化に向けて可能性を探る、という計画でした。公募の段階では予算も流動的で、再建用地の面積も途中で変更になるなどの不確定要因が多い内容でしたが、それにも関わらず、建築家の皆さまには貴重なお時間を割いて頂きコンセプトに沿ったプランをご提案いただきました。あらためてご協力頂いた建築家の皆さまに感謝申し上げます。
- 一次審査に応じて提案いただいたプランは、いずれも ICA と妙高高原の新たな可能性を感じさせる魅力的な内容で、ICA 建設委員会として再建計画の可能性が具体的に感じられ、検討を進める上で何が必要かという点について多くの示唆を頂きました。
- また、一次審査から始まって二次審査を経て最終審査に至る過程での建築士の皆さまとのコミュニケーションは、創立から 60 年になる ICA・妙高高原教会にとって、まず「教会堂を再建する意味」と「次世代に向けてこれから何をなすべきか」という原点を思い起こし、次の世代につなげて行くための可能性を現実結びつけていくチャンスとなりました。
- 最終審査に残った 4 社の提案は、いずれも ICA・妙高高原教会の期待を反映した内容であり、「いずれを選択しても目標とする教会再建は間違いなく達成される」という確信が得られるもので、評価の方法については採点方式による判定は難しいと判断し「投票に基づく合意」としました。
- 4 社の中で、「アトリエニコ 一級建築士事務所」の最終提案は、シンプルなデザインの中に開放的で礼拝に相応しい空間が形成される事、外部空間との繋がりが効果的で開かれたイメージである事、そして自然の素材にこだわってワークショップを効率的に組み合わせる「手造りの教会」を目指す点、についてのバランスが評価されました。

今後、ICA・妙高高原教会は、具体的な基本設計に向けて設計事務所との緊密なコミュニケーションを通じて理想とする教会の再建を目指します。そして再建された教会を最大限に活かして、これからの 60 年と更にその先に向けて維持・発展できるコミュニティの確立を目指します！ あらためまして、これまでのご協力に心より感謝申し上げます。

池の平クリスチャン村・妙高高原教会

建設委員会・理事会・再建計画選考委員会一同